

内服薬による男性型脱毛症（AGA）の治療について

男性型脱毛症（AGA）の治療のための内服薬は、1日1回1個内服を、まずは6ヶ月続けます。効果は、発毛というより、まず、抜け毛減少というかたちで2、3か月後くらいに現れます。効果判定までには6か月の内服が必要です。効果が現れれば内服継続していただくことになります。この薬をやめると効果はなくなります。

男性型脱毛症の治療のための内服薬は、医師の処方が必要な「処方箋医薬品」ですが、健康保険給付の対象にはなりません。処方や処方の際に行われる検査等の一連の診療行為等はすべて自由診療となります。

当院では、新鮮な薬を低価格でご提供するために、なるべく在庫を抱えないようにしています。そのため、お薬のお渡しが後日になることがありますことをご了承ください。あらかじめご連絡をいただければ、お薬をお取り置きしておくこともできます。

	フィナステリド錠 1mg 「トローワ」	プロペシア錠 1mg	ザガーロカプセル 0.5mg
薬効分類名	5α還元酵素Ⅱ型阻害薬 男性型脱毛症用薬	5α還元酵素Ⅱ型阻害薬 男性型脱毛症用薬	5α還元酵素Ⅰ型/Ⅱ型阻害薬 男性型脱毛症治療薬
一般的名称	フィナステリド	フィナステリド	デュタステリド
販売開始年月	2016年9月（後発品）	2005年12月（先発品）	2016年6月（先発品）
当院での価格（税込）	1錠あたり 約138円	1錠あたり 約255円	1カプセルあたり 330円

プロペシア錠は、日本では約15年前から使われている男性型脱毛症（AGA）の治療薬です。

効果は、1年間で半数以上の人に認められ（国内）、5年間で9割の人に認められ（海外）しました。副作用は5%程度で、生殖系障害（勃起不全等）、精神障害（リビドー減退等）等が報告されています。

フィナステリド錠「トローワ」はプロペシア錠の後発品です。有効成分はプロペシアと同一ですが、低価格です。

ザガーロカプセルは、数年前から使えるようになった新しい男性型脱毛症治療薬です。（毛髪ミニチュア化を招く）ジヒドロテストステロンの生成をより強力に阻害するとされています。そのため、効果（約6か月後の毛髪増加数）はプロペシアの約1.5倍で、副作用の頻度も2倍以上と報告されています。なお、「アボルブ」という前立腺肥大症治療薬（健康保険適用）は、ザガーロと全く同じものです。後発品は、当院ではまだ取り扱っておりません。

- 費用：さくら皮膚科医院の場合（消費税込み）
 - 初めて上記薬剤をお出しするときは、
 - 例1：初診料2,870円 + フィナステリド（14日分）1,925円 = 4,795円
 - 例2：初診料2,870円 + プロペシア（14日分）3,575円 = 6,445円
 - 例3：初診料2,870円 + ザガーロ（10日分）3,300円 = 6,170円
 - 2回目以降、最大量を処方した場合は、
 - 例1：再診料1,270円 + フィナステリド（140日分）19,250円 = 20,520円
 - 例2：再診料1,270円 + プロペシア（140日分）35,750円 = 37,020円
 - 例3：再診料1,270円 + ザガーロ（30日分）9,900円 = 11,170円
- フィナステリドとプロペシアは1シート=14錠（14日分）、ザガーロは1シート=10カプセル（10日分）です。シート単位の院内処方となります。返品はできません。
- お薬確保のために、あらかじめご連絡のうえご来院いただくことをお勧めしています。
- 採血などご希望のときは、全額自己負担となります。
- 保険診療と同じ日には処方できませんが、診察の結果、保険診療が必要となることがありますので、保険証等を忘れずにお持ちください。